

PRECISION TRADING BLUEPRINT



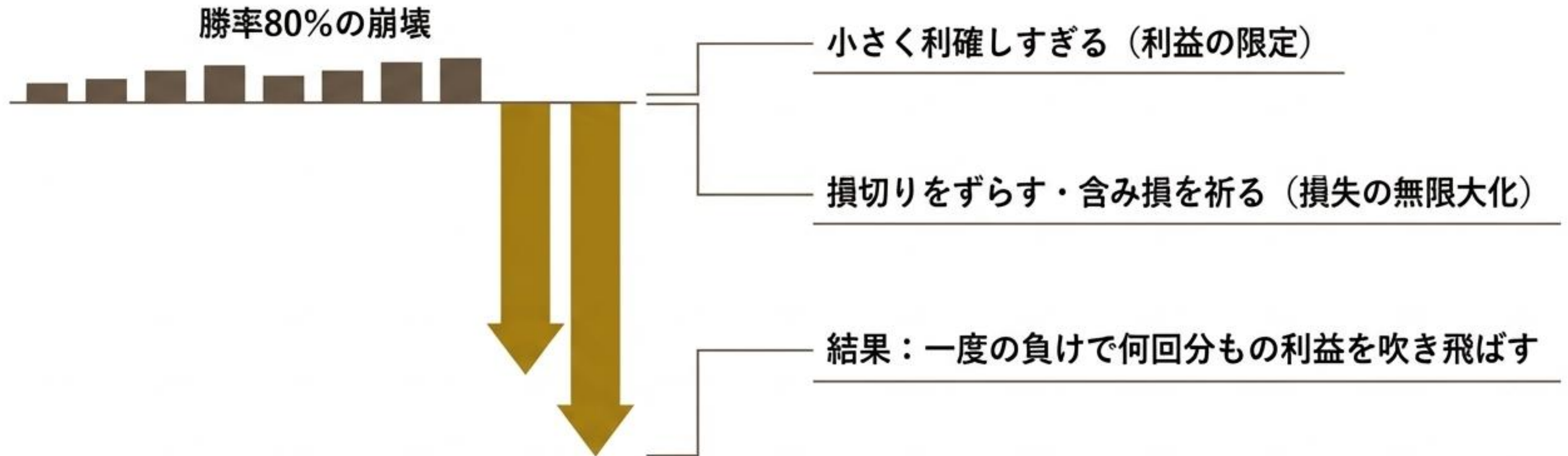
プロが実践する「勝率5割でも利益が残る」 トレードの設計思想

当てる快感を捨て、期待値を積み上げるシステム構築法

THE AMATEUR'S TRAP

初心者が陥る「勝率至上主義」の罠

勝率が高いことと、お金が残ることは全く別の問題です。



「当てる快感」を追い求めると、トレードのシステムは根底から壊れます。

YIELD OVER ACCURACY

プロは「正解率」ではなく「回収率」を見る

勝率（見た目）

何回勝ったかの割合。
単なる正解当てゲーム。



リスクリワードと 期待値（中身）

1の損失リスクに対し、
何倍の利益を狙うかの比率。

野球のメタファー

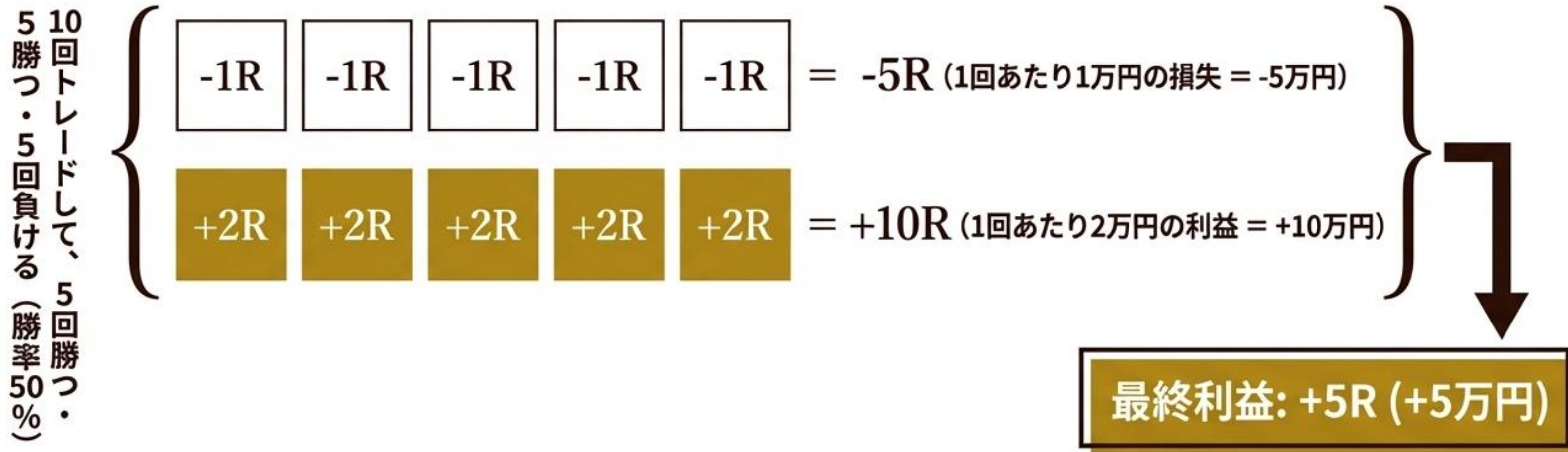
毎打席ホームラン（勝率100%）を狙う必要はありません。
大切なのは、トータルの得点で相手を上回ることです。

店舗経営のメタファー

全ての商品で大儲けしなくても、利益が出る「設計」があれば店は生き残ります。

THE MATHEMATICAL PROOF

勝率5割でもプラスになる「数学的証明」



10回中何回当てたかより、「勝った時にどれだけ取り、負けた時にどれだけ小さく済ませたか」がすべてです。勝率5割でも、RRが1:2なら十分な利益が残ります。

「勝率5割で勝ち残る」手法の基本設計

利益が残るシステム



トレンドに逆らわない

上位足の波に乗り、押し目
買い・戻り売りのみを狙う。
(逆張り禁止)



損切りを先に決める

エントリー前に「想定外」の
許容ラインを設定し、必ず
守る。

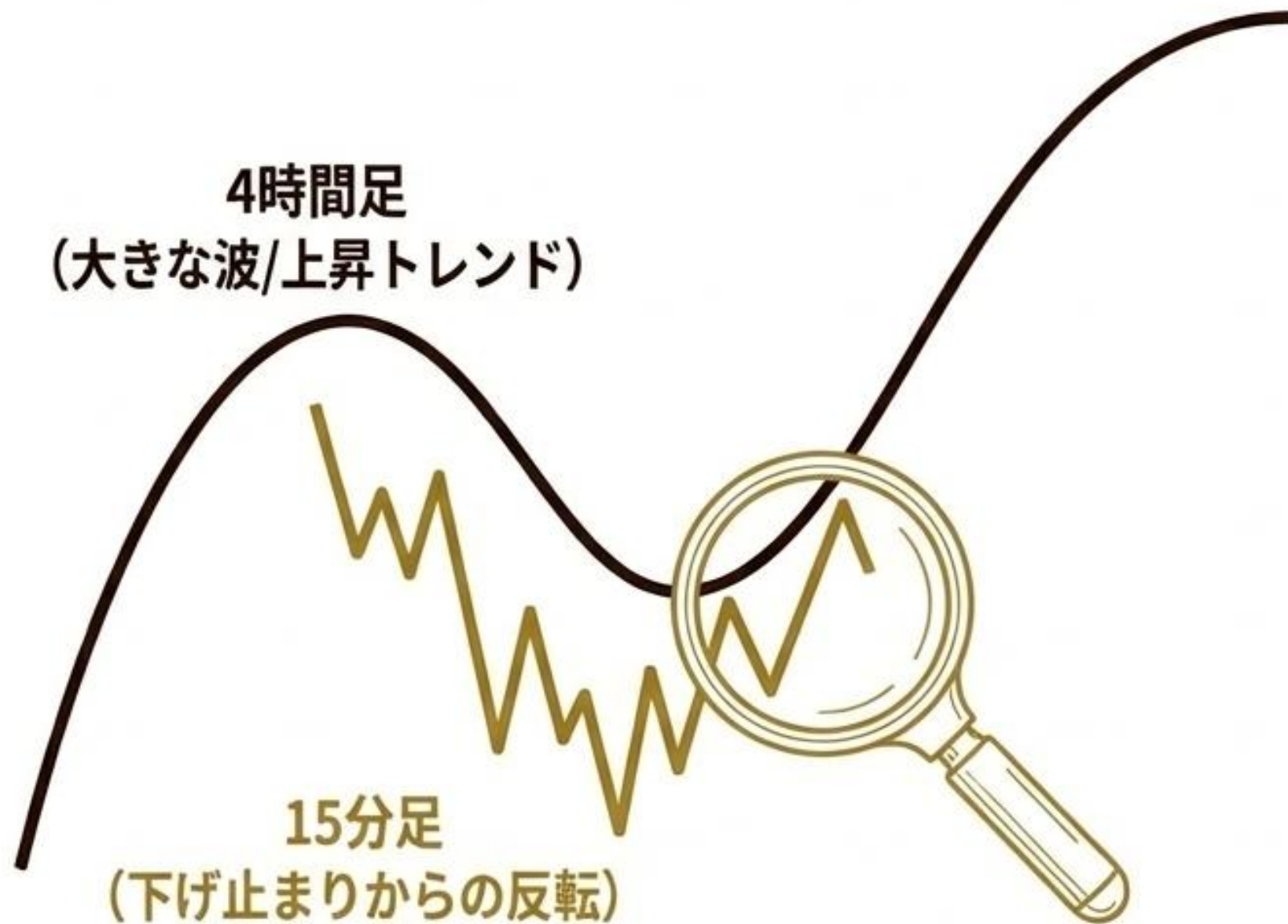


リスクリワード 1:2 以上

狙える利益が、許容する損失
の2倍以上ある場所でのみ戦
う。

全部を取ろうとせず、「条件の良いところ」だけを機械的に抜き取るのがプロの設計です。

エントリー条件の設計（マルチタイムフレーム）



買いの絶対ルール

1. 環境: 4時間足で上昇トレンドが明確である。
2. 収縮: 価格が一時的に下落（押し目）を作っている。
3. 反転: 15分足で「下げ止まり」のサインが出る。
4. 防衛: 直近安値の少し下に、論理的な損切りラインが置ける。
5. 期待値: 利確目標まで「1:2」以上の比率が確保できる。

根拠が弱い、または1:2が取れない場合は「見送る」のが正解。

MECHANICAL EXITS

決済は「気分」ではなく「作業」である

Risk/Reward Execution Box



損切り (Risk) の設計

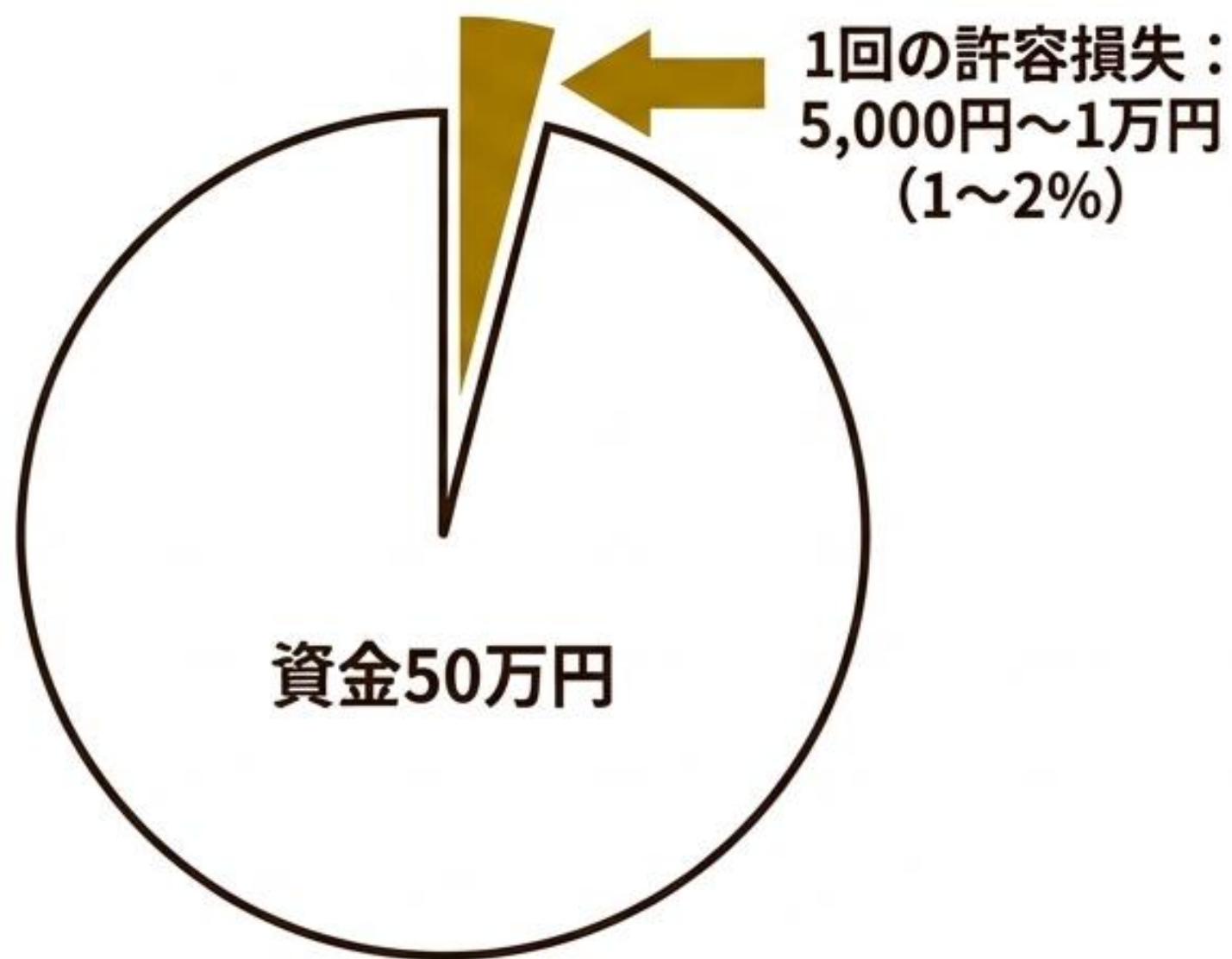
- エントリー後に気分で動かさない。
- 「このシナリオが崩れたら撤退」という論理的な位置に置く。
- 損切りは負けではなく、想定外を小さく処理する作業です。

利確 (Reward) の設計

- 直近高値・安値や上位足の節目をターゲットにする。
- 最低でもリスクリワード1:2を確保する。
- 利確は欲ではなく、設計通りに資金を回収する作業です。

資金管理：破綻しないための絶対的な盾

資金管理を入れないと、いかに優れた手法も機能しません。連敗しても破綻しないことが最優先です。



THE 2% RULE

- 1回のトレードでの損失は、総資金の「1～2%以内」に限定する。
- ロット数は、この「許容損失額」と「損切り幅」から逆算して決める。
- ロット数を「気分」や「自信の有無」で絶対に変えない。

プロは増やす前に、
まず退場しない（死なない）設計を作ります。

THE LAW OF LARGE NUMBERS

大数の法則：1回ではなく「母数」で評価する



人は勝率5割で負けが続くと不安になり、ルールを破棄したり、損切りを拒否してしまいます。

- 手法は「単発」ではなく「母数」で見る。
- 1回、2回の結果に意味を乗せない。
- 10回、50回、100回の連続試行でシステムを評価する。

目の前の1トレードで人生は変わりません。しかし、その1回の雑な行動が積み重なると、人生が変わってしまいます。

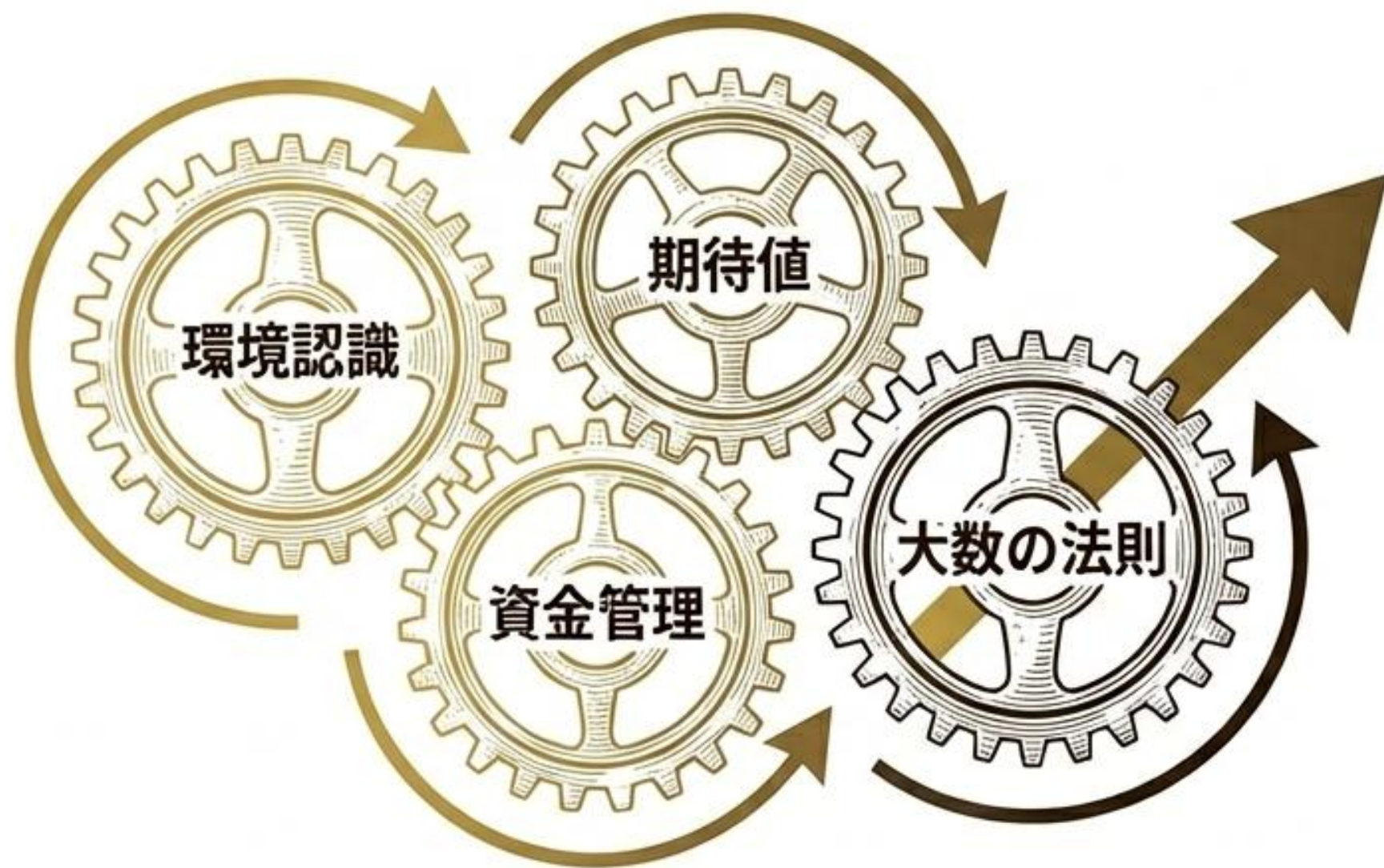
DIAGNOSTIC MATRIX

思考の現在地診断（Diagnostic Matrix）

	◆ アマチュアの行動	◆ プロの設計
目的 Focus	「勝率・当てること」を重視	「期待値・残すこと」を重視
場所 Entry	「当たりそうな場所」で入る	「1:2が取れる場所」でのみ入る
決済 Exit	含み損を祈り、損切りをずらす	決済を「機械的な作業」としてこなす
結果 Result	大勝ちしても最終的に「資金が減る」	負けを混ぜながらも「利益が残る」

THE PROFIT ENGINE

FXは「当てるゲーム」ではない



利益を伸ばそうとすると、
勝率は自然と5割前後に落ち着きます。

プロは『全部取る』のではなく
『条件の良いところだけを取る』ため、
勝率よりも回収効率で勝つのです。

勝率5割だからこそ、感情を排した
精密な「設計」が必要になります。

FXはどれだけ当てるかのゲームではありません。「利益が残る行動を、どれだけ繰り返せるか」のゲームです。

BECOME A DESIGNER OF PROFITS



当てる快感を捨て、利益を残す設計者になれ。

今日からチャートを見る目線を変えてください。

「ここは当たるか？」ではなく、「ここはリスクリワード1:2が組めるか？」

と問いかけることから、すべてが始まります。

あなたのトレードシステムを、今すぐ再設計しましょう。